

平成29年1月15日執行

# 大多喜町議会議員選挙公報

大多喜町選挙管理委員会

## 町の発展を あなたの一票で！！

町民が安心して生活できる町づくりに全力で取り組みます

- ◎未来ある子どもたちとお年寄りたちが幸せになるために、少子高齢社会に対応した町づくりの推進のため頑張ります。
  - ◎『各地域の状況をよく見て、住民の意見をよく聴き、なんでも話せる』町民の代弁者として働きます。
  - ◎町内の歴史的資源や自然・産業を活かし発展させるため、町民との協働の町づくりを推進します。
- 皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



よし  
吉野  
きい  
ち

## 町民に寄り添う行政を目指します

現場第一主義をモットーに地域活動に積極的に参加し「誠実一筋」で働きます。

- ◎大多喜高校の永久存続を目指して  
高校の統廃合が進んでいます。大多喜高校を守るため通学の利便性を向上させる必要があります。
- ◎女性の働きやすい環境づくり  
女性の意見を取り入れ、結婚から子育てまで切れ目ない支援を行なう必要があります。
- ◎高齢者が安心してできるまちづくり  
買物弱者対策、交通不便地域の解消等を行ない高齢者に優しい環境をつくる必要があります。
- ◎農林業の活性化  
担い手や生産組織の育成を図るとともに新たな時代に即した農業の展開が必要です。
- ◎教育問題  
学校統合が進んでいます。子供たちが勉強しやすい環境を整える必要があります。
- ◎婚活事業  
楽しい雰囲気に参加できる環境をつくり一組でも多くのカップルを誕生させるため頑張ります。
- ◎三育学院との連携強化  
地域に愛される大学を目指している三育学院との連携を強め学生と町民がふれあう場を増やします。
- ◎品川行きの高速バスの黒字化のために  
広報活動、運賃補助の見直し、町内全域の運行を行ない利用者を増やすべきと考えます。



ね  
もと  
本  
年  
生

## 住みよい大多喜町を

鳥獣被害対策の充実

ふるさと納税の復活

農林業の後継者の育成

人口減少対策(定住化の促進)



中山間地域の後継者の育成

羽田品川高速直通バスの早期黒字化

胡蝶蘭栽培の早期実現

あそう勇  
プロフィール

- 昭和39年3月 千葉県立大多喜高等学校卒業
- 昭和41年2月 日立工機(株)入社
- 平成14年3月 農林に転身
- 平成25年1月 議員当選
- 平成28年1月 大多喜町福祉経済常任委員会委員長

- 平成28年1月 茨城県市町村議員連合会議員
- 平成28年1月 議員連合会副委員長
- 平成29年1月 千葉県議会議員
- 平成24年4月 茨城県大多喜町議員連合会副委員長
- 平成25年4月 大多喜町議員



あそ  
う  
勇

## 町民の声をしっかりと受け止め

住みやすい町づくりを提案し、促進します！

- 一、安定した生活基盤
  - 基幹道路、集落道路の整備促進
  - 里地、里山の整備促進
  - 有害鳥獣対策の拡充促進
- 二、地域経済の活性化
  - 観光・都市と農山村交流を促し、交流人口を増やす
  - 農・商・工等一体となった地域おこし
- 三、高齢者福祉の充実
  - 高齢者の住みやすい環境づくり
- 四、子育て、青少年の育成、女性の活躍等支援
  - 子育てや教育のしやすい環境づくり
  - スポーツによる青少年の育成を促す
  - 女性が活躍できる機会づくり
- 五、災害対策の強化
  - 自然災害に対する備えの充実



わた  
なべ  
渡  
辺  
よし  
お

## 町民が「明るく、健康で、安心安全な町づくりを」

生活の充実

教育の充実

福祉の充実

農業、商業

特別養護老人ホームの新設

小・中学校の統合、学童保育の充実

生活の充実

道路網の整備

町民の目線で

活性化のために

農・商・工の発展と観光産業の推進

生活の充実

教育の充実

福祉の充実

特別養護老人ホームの新設

小・中学校の統合、学童保育の充実

生活の充実

道路網の整備

よしの一男プロフィール

- 昭和23年4月4日生(68歳)
- 家族：母、妻
- 趣味：スポーツ、社交ダンス

- 昭和42年 東京農業大学付属第一高等学校卒業
- 昭和42年 大多喜町立第一小学校PTA会長
- 平成22年 総元地区区長

- 平成23年 大多喜町区長会連合会 副会長
- 平成25年 大多喜町議会総務文教常任委員会 委員
- 平成27年 大多喜町議会福祉経済常任委員会 委員



よし  
の  
一  
男

- 町民と一体となった住みやすい環境と財政基盤の強化を目指し町民の為の町政を目指して参ります。
- 一、人口減少に全力で取り組んで参ります。
- 一、財政健全化と安心して住める町造りを目指し頑張ります。
- 一、若い人達が住みやすい環境と働く場所の創出に全力で取り組みます。
- 一、町民の声を聞き町民と一体となり町造りを目指して参ります。
- 財政基盤の強化と無駄な支出を抑え健全な町造りに全力で取り組んで参ります。



し  
せ  
き  
む  
ら  
お

## Challenge 山田ひさこはめざします！

- 一、皆様の声を大切に、安心な日常生活をサポートします。
  - 健康医療・子育て応援・高齢者福祉
  - ・町民ニーズに対応した地域交通の充実に取り組みます。
- 一、地域の声を大切に、女性の視点で安全なまちづくりを推進します。
  - 環境保全・防災減災・事故防止・防犯対策に取り組みます。
- 一、現場の声を大切に、希望の城「大多喜町」を建設します。
  - 青少年教育・産業振興(農・工・商業)・有害鳥獣対策・山ビル対策
  - ・就労情報を提供する窓口の整備
  - ・文化芸術交流・観光対策に取り組みます。

プロフィール

- 昭和37年2月3日生まれ
- 茨城県大多喜町田代在住
- 1期
- 福祉経済常任委員
- 公明党勝浦支部副支部長



公  
明  
党  
山  
田  
ひ  
さ  
こ

## 大多喜 ふるさとOTAKI宣言

- O** おもてなしの気持ちあふれる街にします  
交流人口が増える町にします。再び訪れたい町にします。
- T** たくさんの喜びを実感出来る町にします  
親、子、孫が、祖父母、両親がみんなで明るく暮らしている社会にすることが大切です。命の尊さを実感出来る町にします。
- A** 遊び心あふれる街にします  
近隣の人々が声をかけあう町は、ぬくもりと親しみのある後世へと続く街づくりの基本になります。
- K** 国際都市の条件は、自らの住む町を愛することです  
自らの住む町の文化・歴史を誇りに思うことが基本です。ローカルにしてグローバルにが合言葉です。
- I** いじめ、虐待ゼロの心の痛みがわかる町にします  
子供が元気よく暮らせる町は、将来の明るい町への第一歩です。心の痛みがわかる町、高齢者や障害者にやさしい街づくりを行います。

あそ  
う  
とも  
こ  
麻生  
朋子  
プロフィール

- 公立学校教諭として35年、児童、生徒の力を引き上げる。熱血指導で一時代を築く。
- 現在、公認一輪車インストラクターとして後進の指導にあたり、生涯学習を実践。



あ  
そ  
う  
と  
も  
こ

